

[書評]

「質的データの取り扱い」書評

石川 信 克

本学会理事

著者のリン・リチャーズ氏は質的研究の第一人者で家族社会学を専門としており、グランデッドセオリーなど質的研究と教育に長年に渡り携わってきた。また、IT 専門家で哲学者の夫のトム・リチャーズ博士と共に質的データ分析ソフトウェア NUD*IST (Non-numerical Unstructured Data Searching and Theorizing) と NVivo を開発し、Qualitative Solutions & Research (QSR) 社を創設した。本書はそのリチャーズ氏が、質的 (定性的) データを如何に取り扱うかを丁寧に、そして実践的に読者に伝授するマニュアル本である。

本書は 10 章から構成されており、それらが大きく 3 つの「作業」と称する部にわかれている。第一部の「プロジェクトのセットアップ」ではプロジェクトを開始するにあたり、目標やデータの記述・分析方法やプロジェクトそのものの理論的根拠を正当化する「作業」について詳しく述べている。第二部の「データを使っての作業」ではデータの作成と分析という「作業」が実際にはどういうことを指すのかを、その「作業」を細かく解体して説明し、また「作業」に伴う様々なリスクの回避方を提案している。第三部の「データへの意味づけ」では分析と報告という「作業」について述べている。データの意味づけとはすなわち自分の研究結果が意味することは何か、を考えることである。これまでの研究のプロセスを見直し、再度「全体」として見直す必要性とその方法を紹介している。またこれらのプロセスに伴う一連の作業に、どのようにして QSR Nvivo のソフトウェアを有効的に活用し、その際に生じうる様々な問題にどのように対応したらよいか、適切な対処法を提言している。更には初版と比べると研究者と研究者が持つデータとの関係性や倫理的意義の 2 点については更に深く追求し、またデータ収集のための準備や収集したデータの性質について内省することに関してはセクションを拡大して取り上げている。

また、本書の companion homepage では (<http://www.sagepub.co.uk/richards>) 英語でではあるがソフトウェアの遣い方や質的研究の様々な具体例が掲載されており、本書と併用して使える貴重な資源となっている。

本書は質的データの管理・整理・分析に関する、実用的で目的達成可能なテクニックを提供し、更には読者が 1 人で、またはグループワークとして行えるエクササイズも満載している。しかも技術だけではなく、質的データとは何たるかを、その哲学的背景から丁寧に説明している。質的データを表面的にしか理解せず、その分析方法などといったテクニックのみにこだわると、どうしても思慮の浅い、薄っぺらな研究が出来上がってしまうのだが (実際にそのような研究も数多くある)、この本は読者に先ず「なぜ質的研究なのか」を考えさせることに成功しているといえよう。

訳者は自ら量的・質的研究に通じた研究を展開されており、本会会員には有益な手引を提供された。

*「質的データの取り扱い」

著者 L.リチャーズ (大谷順子・大杉卓三 訳)

出版社 北大路書房

連絡先：〒 204-8533 結核予防会結核研究所 東京都清瀬市松山 3-1-24
石川信克
TEL：042-493-5711 (代表) FAX：042-492-4600
E-mail：ishikawa@jata.or.jp

Journal of International Health

ISBN 978-4-904516-06-5
ISSN 0917-6543

国際保健医療

Volume 25, Number 3, September 2010

jaiph

Japan
Association
for
International
Health

日本国際保健医療学会

日本国際保健医療学会 学会雑誌 「国際保健医療」 第25巻第3号

目 次

学会創設 25 周年記念企画の起源	
明石秀親	131
日本国際保健医療学会 学会雑誌 25 周年記念特別寄稿	
「誕生から一人歩きができるまで」	
島尾忠男	132
「学会と協力部の過去を振り返って」	
我妻堯	134
「第 11 回総会のことなど」	
川原啓美	136
「日本国際保健医療学会の四半世紀」	
石井明	138
「日本の医学を世界的視野で考える動きの中から生まれた本学会」	
石川信克	140
原 著	
農作業にともなうレプトスピラ症の感染リスクと接触機会の推定	
石橋良信、渡部 徹、上原鳴夫	143
Evaluation of hypothermic neonates: a risk factor for death in a regional hospital for mother and neonate in Morocco	
小林智幸、Sami Ghita、E.Amina	155
在日ブラジル人が医療サービスを利用する時のにわか通訳者に関する課題	
永田文子、濱井妙子、菅田勝也	161
資 料	
在日中国人留学生の保健行動に関する実態調査	
久米絢弓、西川まり子、大久保一郎	171
臨床医からみた在日外国人に対する保健医療ニーズ	
—群馬県医師会、小児科医会における調査報告—	
高橋謙造、重田政信、中村安秀、李 節子、真下延男、 中田益允、赤沢達之、鶴谷嘉武、牛島廣治	181
書 評	
「質的データの取り扱い」	
石川信克	193
投稿規定（日本語、英語）	195
編集後記	202

JOURNAL OF INTERNATIONAL HEALTH

Vol.25 No.3 September 2010

CONTENTS

Special contribution of the 25th anniversary

Original Article:

- Estimation of Risk of Infection and Contact Frequency with *Leptospira*
During Farmwork
Yoshinobu ISHIBASHI, Toru WATANABE, Naruo UEHARA 143
- Evaluation of hypothermic neonates: a risk factor for death in
a regional hospital for mother and neonate in Morocco
Tomoyuki KOBAYASHI, Sami. GHITA, E. AMINA 155
- Risk of Ad hoc Interpreters on the Medical Care Services for
Brazilian Residents in Japan
Ayako NAGATA, Taeko HAMAI, Katsuya KANDA 161

Information:

- A Survey on Health Behavior of Chinese Foreign Students in Japan
Ayami KUME, Mariko NISHIKAWA, Ichiro OKUBO 171
- A needs survey of medical service for foreign residents in Japan
from the viewpoint of medical practitioners
-Report of a survey for doctors in Gunma medical association and
Gunma pediatric association-
Kenzo TAKAHASHI, Masanobu SHIGETA, Yasuhide NAKAMURA, Setsuko LEE,
Nobuo MASHIMO, Masumitsu NAKATA, Tatsuyuki AKAZAWA,
Yoshitake TSURUYA, Hiroshi USHIJIMA 181

Book review:

- Nobukatsu ISHIKAWA 193

- Instruction to Authors** 195

- Editor's Note** 202

jaih

**Japan Association for International Health
(Nippon Kokusai Hoken Iryo Gakkai)**

c/o Department of International Community Health
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo
7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0033, JAPAN
TEL/FAX: +81-3-5841-3479